

改定率の推移

	改定率全体	本体				薬価等			内閣
		合計	医科	歯科	調剤	合計	薬価	材料	
2000年	0.20%	1.90%	2.00%	2.50%	0.80%	▲1.70%	▲1.60%	▲0.10%	小渕
2002年	▲2.70%	▲1.30%	▲1.30%	▲1.30%	▲1.30%	▲1.40%	▲1.30%	▲0.10%	小泉
2004年	▲1.05%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	▲1.00%	▲0.89%	▲0.16%	小泉
2006年	▲3.16%	▲1.36%	▲1.50%	▲1.50%	▲0.60%	▲1.80%	▲1.60%	▲0.20%	小泉
2008年	▲0.82%	0.38%	0.42%	0.42%	0.17%	▲1.20%	▲1.10%	▲0.10%	福田
2010年	0.19%	1.55%	1.74%	2.09%	0.52%	▲1.36%	▲1.23%	▲0.13%	鳩山
2012年	0.004%	1.38%	1.55%	1.70%	0.46%	▲1.38%	▲1.26%	▲0.12%	野田
2014年	▲1.26%	0.73%	0.82%	0.99%	0.22%	▲0.63%	▲0.58%	▲0.05%	安倍
2016年	▲1.03%	0.49%	0.56%	0.61%	0.17%	▲1.33%	▲1.22%	▲0.11%	安倍
2018年	▲1.19%	0.55%	0.63%	0.69%	0.19%	▲1.74%	▲1.65%	▲0.09%	安倍
2020年	▲0.46%	0.55%	0.53%	0.59%	0.16%	▲1.01%	▲0.99%	▲0.02%	安倍

2014年 の改定率は公表は+1.26%だが、消費税対応分を除いた改定率とした

2016年 の改定率は外枠で薬価の市場拡大算定の見直し（引き下げ）を行っている。

2020年 働き方改革対応分（0.08%）を除くと本体合計は+0.47%、改定率全体は▲0.54%となる